T04284500016B

取扱説明書

紙折機　F－160

ご使用になる前に、この「取扱説明書」をよくお読みください。また、いつでもお読みになれるよう保管場所を決めて、大切に保管してください。

●ご使用の前に、この「安全上の注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。

●ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、危害や損害を未然に防止するためのものです。

●[安全上の注意]に使用されている絵表示の例。

△記号は注意を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容が描かれています。（左図の場合は「高温注意」）

⃠記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中に具体的な禁止内容が描かれています。（左図の場合は「分解禁止」）

●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容が描かれています。（左図の場合は「電源プラグをコンセントから抜け」）

安全上の注意

⚠ 警 告

	アース接続してください。 漏電した場合、感電を防止します。
	この機器は50Hzと60Hz で別仕様です。周波数が仕様外の場合、火災・故障の恐れがあります。 交流100Vで使用してください。電圧が高すぎたり低すぎたりする場合、火災・故障の恐れがあります。
	この機器の上に物をのせないでください。機器内部に水・異物が入った場合、火災・漏電の恐れがあります。
	電源コードの扱いには十分注意してください。 傷付ける・破損させる・加工する等の行為をしないでください。火災・感電の恐れがあります。 重量物をのせないでください。火災・感電の恐れがあります。 プラグやコードを無理に曲げないでください。火災・感電の恐れがあります。
	濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の恐れがあります。
	この機器のカバーは外さないでください。感電やケガの恐れがあります。
	この機器を改造しないでください。火災・感電の恐れがあります。
	発熱していたり煙が出ている、変な臭いがするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の恐れがあります。すぐに電源スイッチを切り、その後必ず電源プラグをコンセントからぬいてください。そして販売店にご相談ください。
	電源コードが熱を持ったり、異臭がするなど異常があったらすぐに電源スイッチを切り、その後必ず電源プラグをコンセントからぬいてください。そして販売店にご相談ください。
	異物が機器に入った場合は、まず本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご相談ください。
	雷が近づいてきたら、落雷による火災・故障を防ぐためコンセントを抜いてください。

⚠ 注 意

	髪の毛・ネクタイ・ネックレスなどを駆動部にたらさないでください。けがの原因になります。
	ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。 落ちたり、倒れたりして、けがの原因になります。
	湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因になります。
	電源プラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。電源コードを引っ張るとコードが傷つき、火災・感電の原因になります。
	本機器を移動させる場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。コードが傷つき、火災・感電の原因になります。
	連休等で、本機を使用にならない時は安全のため必ず電源コードをコンセントから抜いてください。

はじめに

ご使用になる前に、この「取扱説明書」をよくお読みください。
この「取扱説明書」は、必要な時にいつでもお読みになれるように、保管場所を決めて大切に保管してください。
この製品は改良のために、仕様を変更する場合があります。このため、同一製品においても「取扱説明書」の記載内容が異なる場合がありますので、製品ごとの「取扱説明書」を混同して使用しないでください。

目次

1. 設置前の注意事項
1.1 設置場所の確認 …… 6
1.2 搬入時の注意 …… 6
1.3 付属品の種類・数量の確認 …… 7
2. 製品各部の名称
2.1 外観 …… 8
2.2 操作パネルシート部 …… 9
3. 特に注意していただきたいこと
3.1 用語の定義
3.1.1 マーク解説 …… 10
3.1.2 用語・折り形解説 …… 10
3.2 特徴および使用目的 …… 10
3.3 使用しないとき …… 10
3.4 使用上の注意 …… 10
4. 使用前の準備
4.1 付属品を取付ける …… 11
5. 使用方法
5.1 規格用紙(A4)の定形折り …… 12
5.1.1 用紙のセット …… 12
5.1.2 折り形の設定 …… 12
5.1.3 試し折り …… 13
5.1.4 連続折り …… 13
5.2 調整 …… 14
5.2.1 折りカセット1・2の微調整 …… 14
5.2.2 斜行調整 …… 14

５．３ カウンタ ・・ 15
５．４ 変形外3つ折り ・・・ 16
５．５ エラー表示・状況・対策 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 17

６．保守・点検・消耗品
６．１ 点検・お手入れ時の注意事項 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 18
６．２ 日常のお手入れ ・・・ 18
６．３ 消耗品について ・・・ 18
６．４ 排紙フォトセンサーの清掃について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 19
６．５ 紙詰まり時の対処方法 ・・ 19
６．６ 用紙セパレーター・給紙ゴムローラー・
ブレーキゴムの脱着について ・・・・・・・・・・・・ 20

７．トラブル時の処置
７．１ トラブルの内容と処置 ・・ 21
７．２ 故障の場合 ・・・ 22

８．移設または廃棄するとき
８．１ 移設
８．１．１ 旧設置場所からの撤去作業 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 23
８．１．２ 運搬 ・・・ 23
８．１．３ 移設先での設置 ・・・ 23
８．２ 廃棄 ・・ 23

９． 製品仕様
９．１ 仕様 ・・ 24

1. 設置前の注意事項

1．1　設置場所の確認

次の条件を満たした場所に設置してください。

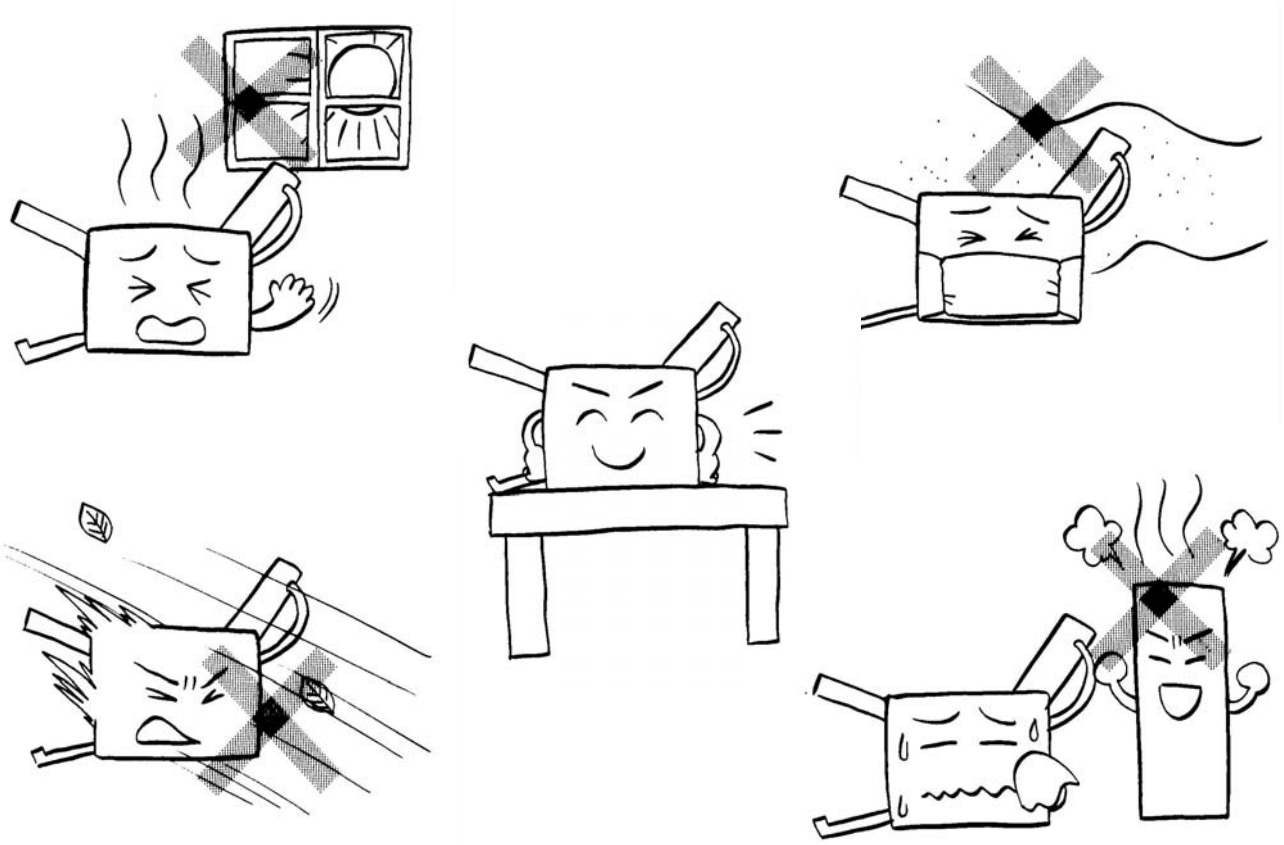
・直射日光の当たる場所に設置しないでください。

・窓際は避けてください。

・湿気やほこりの多い場所は避けてください。

・風の当たるところ、熱を発生する機器付近での使用は避けてください。

・丈夫で水平な台又はテーブル上に設置してください。



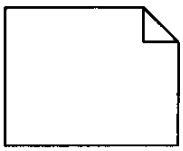
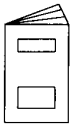
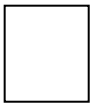
1．2　搬入時の注意

・衝撃や激しい振動が製品本体に加わらないように丁寧に取り扱ってください。

・保護手袋をし、底面をしっかり持って運搬してください。

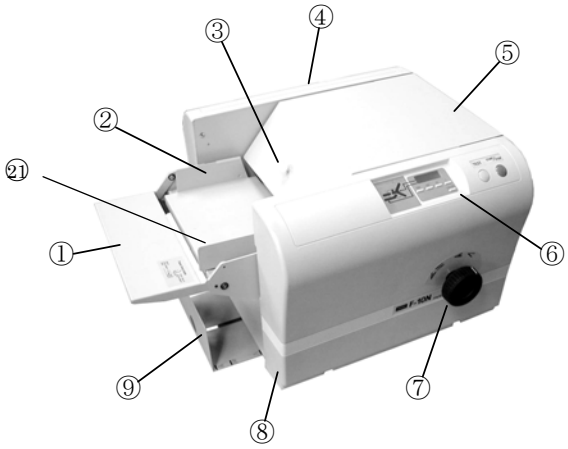
1．3　付属品の種類･数量の確認

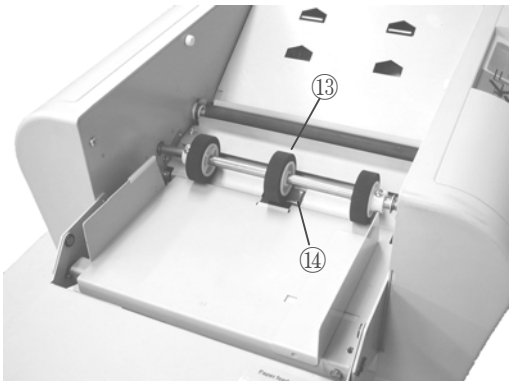
開梱したら、付属品の確認をしてください。
万一不足していたらすぐに販売店に連絡してください。
また、保証書の記入をお願いします。

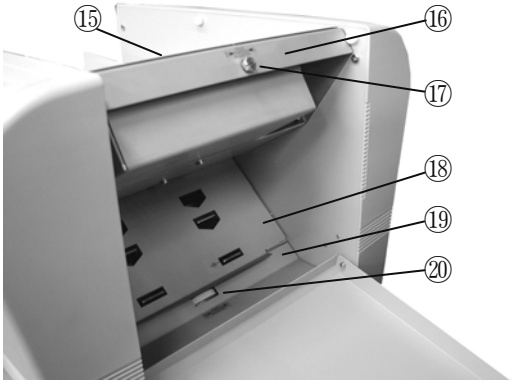
付属品	個数	図
補助用紙ガイド	1	
電源コード	1	
機械カバー	1	
取扱説明書	1	
簡易マニュアル	1	
保証書	1	

2. 製品各部の名称

2.1 外観

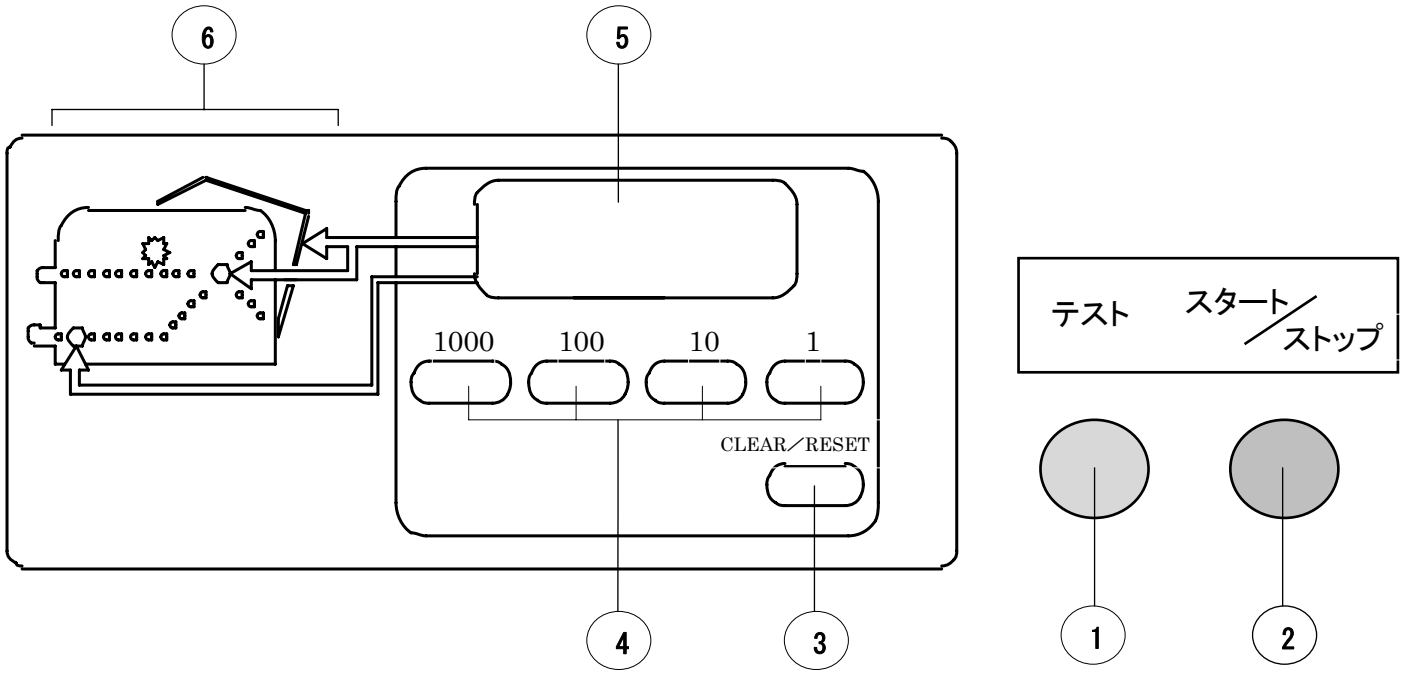






番号	名　称	はたらき	番号	名　称	はたらき
①	補助用紙テーブル	用紙を支える	⑪	ブレーカ	過電流保護
②	給紙テーブル	用紙を載せる	⑫	電源スイッチ	電源の入・切
③	ﾛｰﾗｰｶﾊﾞｰﾂﾏﾐ	カバー開閉のツマミ	⑬	給紙ローラー	用紙を１枚だけ給紙
④	左化粧カバー	メカ部の保護	⑭	セパレータ	用紙を１枚だけ給紙
⑤	ローラーカバー	巻き込み防止	⑮	折りｶｾｯﾄ1ｶﾊﾞｰ	折りｶｾｯﾄ1のｶﾊﾞｰ
⑥	操作パネル	枚数設定など	⑯	折りｶｾｯﾄ1	１回目の折り
⑦	折り形設定ﾀﾞｲｱﾙ	折り形の設定	⑰	折りｶｾｯﾄ1微調整ﾂﾏﾐ	折りずれを修正
⑧	右化粧カバー	メカ部の保護	⑱	折りｶｾｯﾄ2ｶﾊﾞｰ	折りｶｾｯﾄ2のｶﾊﾞｰ
⑨	排紙テーブル	折った用紙を蓄える	⑲	折りｶｾｯﾄ2	２回目の折り
⑩	インレット	電源コードをつなぐ	⑳	折りｶｾｯﾄ2微調整ﾂﾏﾐ	折りずれを修正
			㉑	補助用紙ガイド	給紙時の曲りを防止

2．2　操作パネルシート部



番号	名称	はたらき
①	テストキー	テスト折りを2枚（カウンタに影響なく2 枚のみ折る）
②	「スタート／ストップ 」キー	スタートとストップ
③	「クリア／リセット」 キー	カウンタをクリア／エラーをリセット
④	数字キー	減算カウンタ時、枚数を入力
⑤	カウンタ	枚数を表示
⑥	エラーマップ	紙詰まり・スリップ・ジャム発生時、発生場所を表示

3. 特に注意していただきたいこと

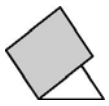
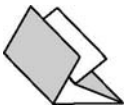
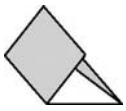
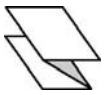
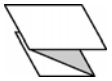
3．1　用語の定義

3．1．1　マーク解説

注意！　　注意していただきたいことです。
ポイント！　知っていると便利なことです。

3．1．2　用語・折り形解説

名　称	解　説
ジャム	用紙が機械内部で詰まること
重送	2枚以上重ねて（折りカセット1・2内）給紙すること
スリップ	用紙が送り込まれないこと
さばく	用紙どうしがはりついている状態をはがすこと

図					
折り形	2つ折り	4つ折り	内3つ折り	外3つ折り	変形外3つ折り

図の着色部は、給紙テーブルに用紙を下向きにセットしたときに折られた状態です。

3．2　特徴および使用目的

・操作が簡単です。
・用紙の断裁が曲がっていた場合および斜めに折られたときに、曲がりを補正する機能として「斜行調整ツマミ」があります。

3．3　使用しないとき

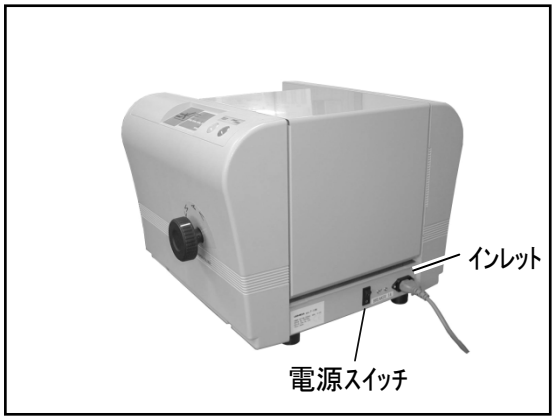
・電源プラグをコンセントからはずしてください。
・機械カバーを掛けてください。

3．4　使用上の注意

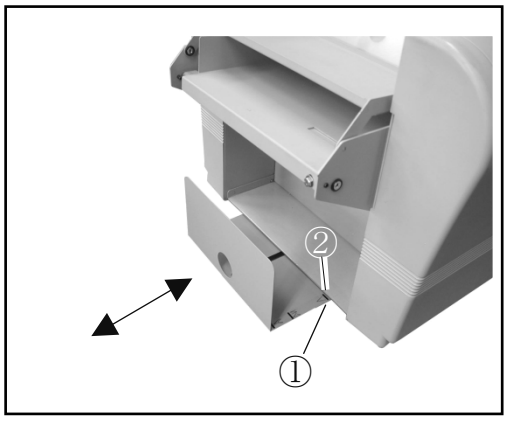
・ローラーカバーの開閉は、ツマミを持って行ってください。用紙ガイドにはさまれる恐れがあります。
・特に重要な書類は事前に折りテストをして折り位置の確認をしてください。
・理由を問わず、用紙の折ずれ・破損の補償はご容赦ください。

4. 使用前の準備

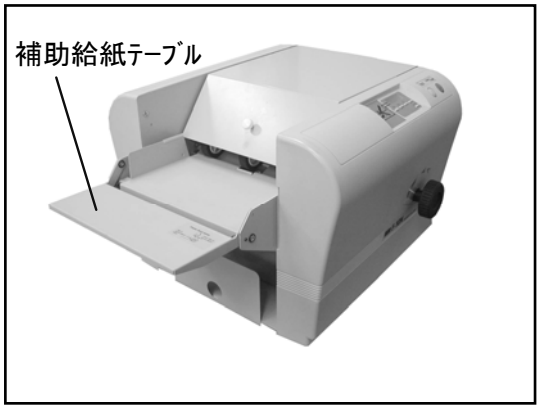
4. 1　付属品を取付ける



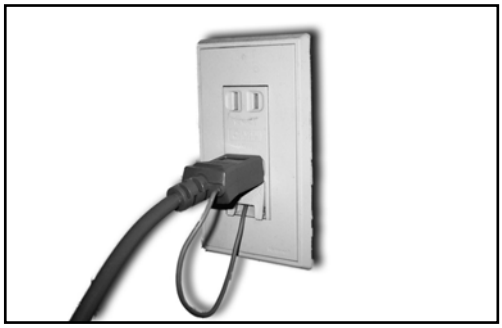
（1）電源コードをインレットに差し込みます。



（2）排紙テーブルを引き出します。
折り形の設定により、引き出す位置が異なります。折り形マークの太いライン①を、エッジ②に合わせてください。



（3）補助給紙テーブルを広げます。



（4）電源コードをコンセントに差し込みます。

注意！

・必ずほどいて使用してください。
・付属の電源コード以外は使用しないでください。
・電源コードのアース線は必ず接地（アース）してください。
・電源コードのプラグ形状は異なる場合があります。

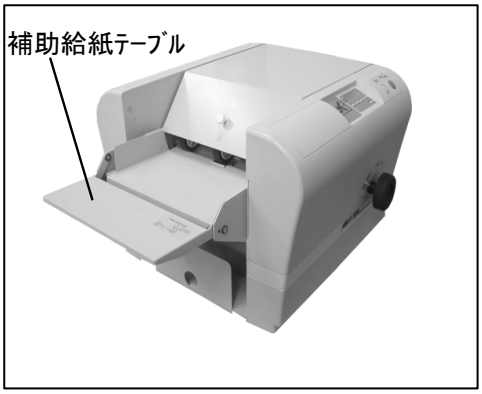
（5）電源スイッチをオンにします。

⚠ 警　告	
⃠	濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の恐れがあります。
	電源コードのアース線は電源コンセントに挿入または接触させないでください。 火災・感電の原因になります。

5. 使用方法

5．1　規格用紙（A4）の定形折り

5．1．1　用紙のセット



（1）補助給紙テーブルを広げます。

（2）用紙を載せ、補助用紙ガイドをセットします。その後、給紙テーブルの先端（矢印部）を押し下げ、紙が給紙ローラーの下にくるようにします。

注意！

・印刷直後の用紙はジャム・重送・スリップ・用紙シワの原因になりますので必ず乾いてから使用してください。

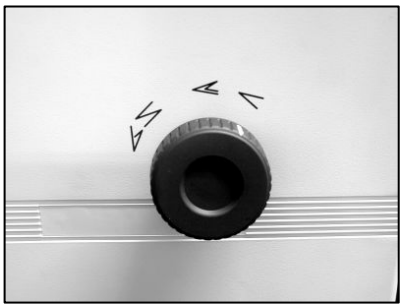
・用紙をセットするときは、印刷面に注意してください。用紙のセット状態と折られた状態は、10ページ「3．1．2　用語・折り形解説」の表を参考にしてください。

・用紙ガイドとセットした用紙の間に隙間があると、折りずれの原因になります。

5．1．2　折り形の設定

（1）ダイアルを回して、白いラインを折り形のマークに合わせます。

（2）2つ折り、4つ折り、外3つ折り、内3つ折り、の4種類を選択できます。



⚠ 注　意

ダイアルは、2つ折りのマークよりも右には、また内3つ折りのマークよりも左には回転しません。無理な力で回転させると故障の原因になります。
ダイアルはクリック感のあるところで止めて下さい。

５．１．３　試し折り

（1）ダイアルを回して、白いラインを折り形のマークに合わせます。

（2）「テスト」キーを押すと、2枚折ります。

2枚目の折った用紙で仕上がりを確認します。

《 折りずれが発生する原因 》

・ローラーの汚れ
・用紙ガイドのセットが曲がって固定されている、又は、 用紙ガイドと用紙の間に隙間が有る。
・給紙テーブルが曲がっている
・用紙の裁断が曲がっている

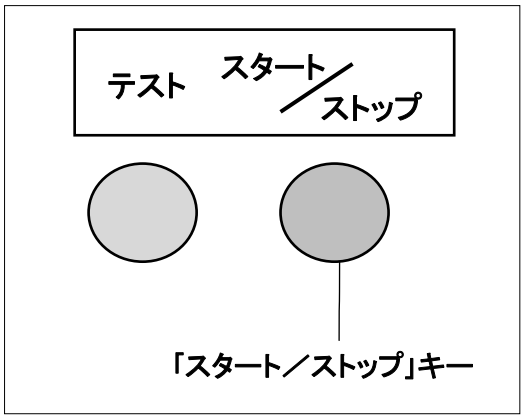
《 折りずれを修正する場合 》

→ 14ページ「５．２　調整」参照

⚠ 注 意	
	ローラーなどの駆動部には絶対に手を触れないでください。 けがの原因になります。
	髪の毛・ネクタイ・ネックレス等をローラーなどの駆動部に垂らさないでください。 けがの原因になります。
	ローラーカバーを開閉する場合は必ず「電源」を切ってからにしてください。電源が入っているとローラーなどに手や指が挟まりけがをします。

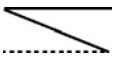
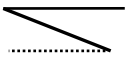
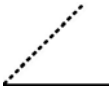
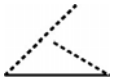
５．１．４　連続折り

（１）「スタート/ストップ」 キーを押すと、連続して用紙を折ります。動作中に、もう一度押すと停止します。



５．２　調整

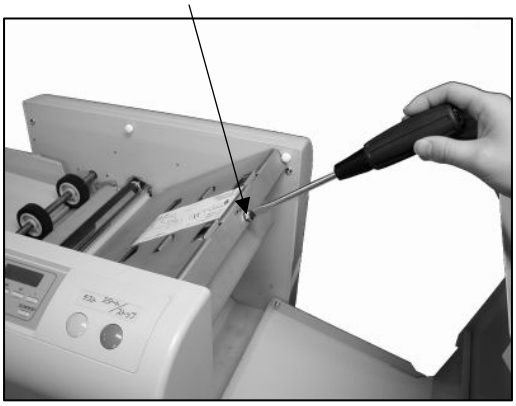
５．２．１　折りカセット1・2の微調整

	折り形	2 つ折り	4 つ折り	内 3 つ折り	外 3 つ折り	変形外3つ折り
折りカセット1	紙折りの状態 （実線の長さを折りカセット1で調整します）	折りカセット１を通りません				
	実線部が長い場合		短	短	短	短
	実線部が短い場合		長	長	長	長
折りカセット2	紙折りの状態 （実線の長さを折りカセット2で調整します）					
	実線部が長い場合	短	短	短	短	短
	実線部が短い場合	長	長	長	長	長

※折り形の図は排紙テーブルに出てきた用紙を操作パネル側から見た状態で表しています。

※調整は、2.5mmまで可能です。

折りカセット1微調整ツマミ



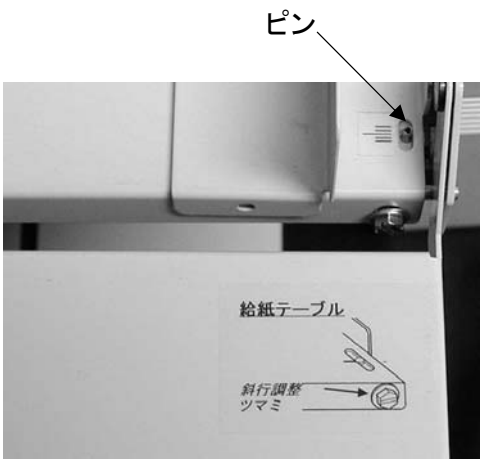
【折りカセット1】

折りカセット2微調整ツマミ

【折りカセット2】

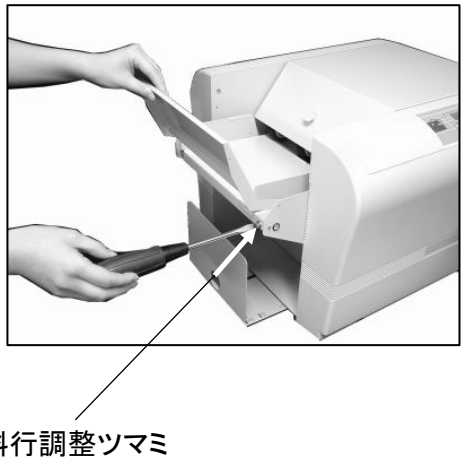
５．２．２ 斜行調整

用紙裁断時の曲がり、その他の要因で折り合わせが曲がっている場合は、斜行調整ツマミで曲がりを修正することができます。（基本位置はピンが溝のある中央にあります）



排紙された状態のまま見て、用紙の下面が右へ曲がった場合は、マイナスドライバーを使って斜行調整ツマミを時計方向へ、左へ曲がった場合は反時計方向へ回してください。

※万が一、斜行の曲がりが発生した際は、まず用紙ガイドと用紙の間に隙間がないか確認してください。



注意！

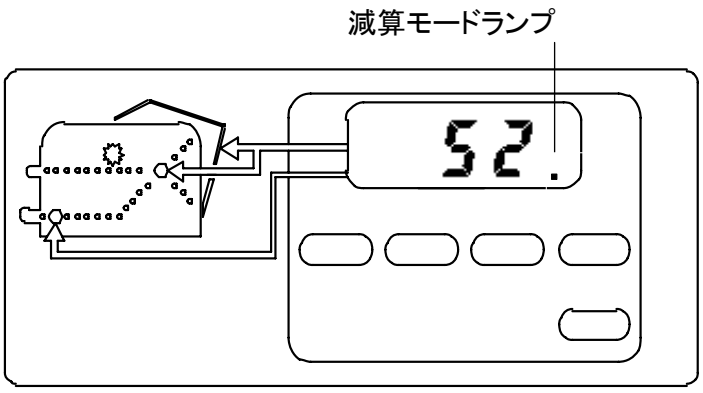
・２つ折り以外の場合は折りカセット１で折られた面を下にして斜行調整してください。

・用紙を変えた時は、斜行を調整し直してください。

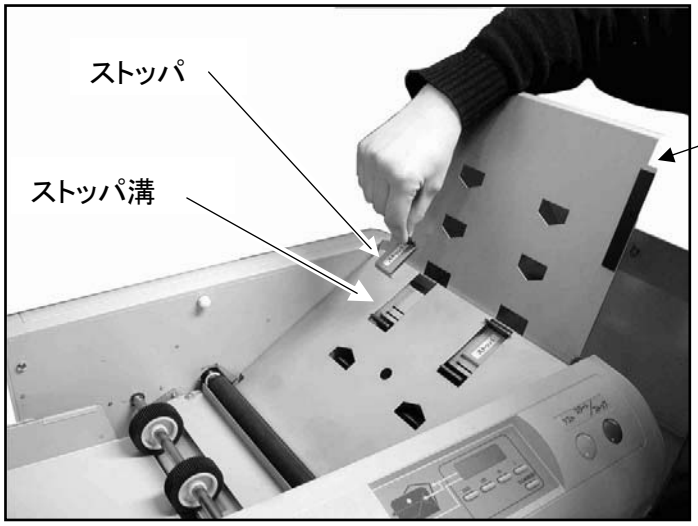
・作業後は斜行調整ツマミを基本位置に戻してください。

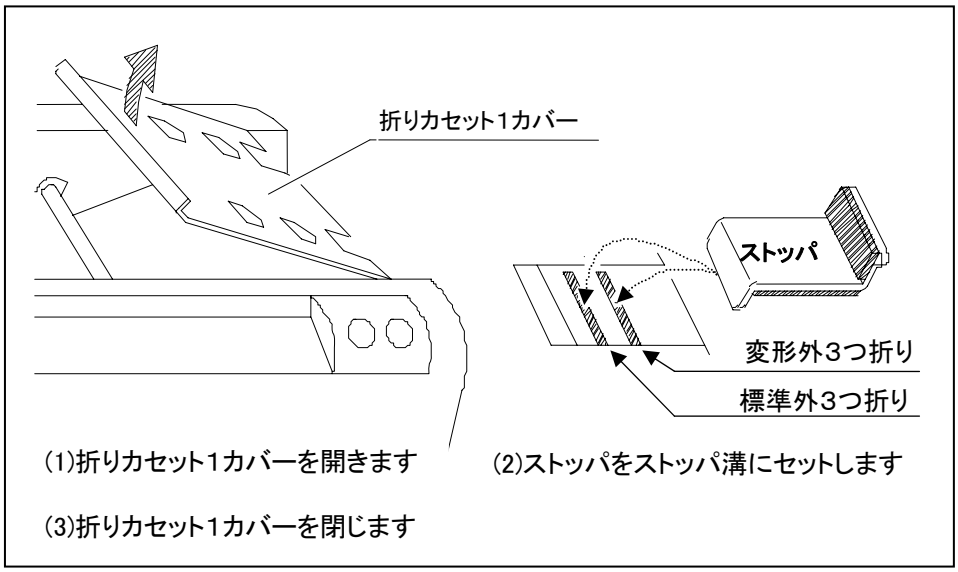
５．３ カウンタ

（１）「スタート/ストップ」キーを押すと、連続して用紙を折ります。動作中に、もう一度押すと停止します。



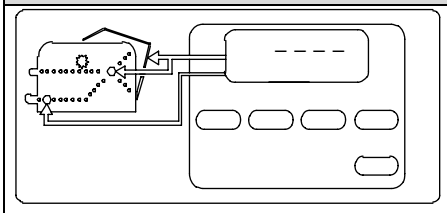
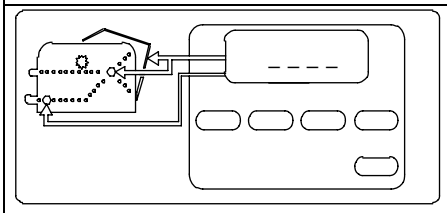
５．４　変形外3つ折り





※操作側と奥側、計2ヶ所、ストッパをセットしてください。

５．５ エラー表示・状況・対策

表　示	状　況	対策
	①給紙スリップ発生時 ②折りカセット1・2内で紙詰まり発生時 ③ローラーカバーが開いている時	①用紙セパレーター・給紙ゴムローラー清掃又は交換 18ページ「6．2日常のお手入れ」、20ページ「6．6用紙セパレーター・給紙ゴムローラーの脱着」参照 ②折りカセット内に詰まった紙を取除く。 19ページ「6．5紙詰まり時の対処方法」参照 ③ローラーカバーを閉める
	①排紙テーブル満杯時 ②排紙部紙詰まり発生時 ③排紙フォトセンサーの汚れている時	①排紙部の紙を取る ②紙詰まりを取り除く ③排紙フォトセンサーの清掃 19ページ「6．4排紙フォトセンサーの清掃について」参照

6. 保守・点検・消耗品

6．1　点検・お手入れ時の注意事項

⚠ 警 告	
	点検・手入れ時には電源プラグをコンセントから抜いてください。 けが・感電の恐れがあります。

6．2　日常のお手入れ

・折りローラーに紙粉やホコリがたまると紙折りに支障をきたす場合があるので、使用しない時は機械カバーをかけてください。
・折りローラーに紙粉及び印刷物のインクが付着するとシワ、紙詰まり等トラブルの原因になるので定期的にクリーナーと布切れを用いて清掃してください。
・折りローラーは 1 本ずつ、クリーナーを浸した布切れで力いっぱいこすり、何も汚れが取れなくなるまで拭いてください。
・紙粉及び印刷物のインク等が給紙ゴムローラーや用紙セパレーターに付着すると給紙性能が低下し、紙詰まりやスリップの原因になるのでクリーナーを用いて清掃をしてください。
・外装部の汚れはアルコール又は清掃用クリーナーを使用してください。
溶剤系の洗浄液は変色の原因になるので使用しないでください。

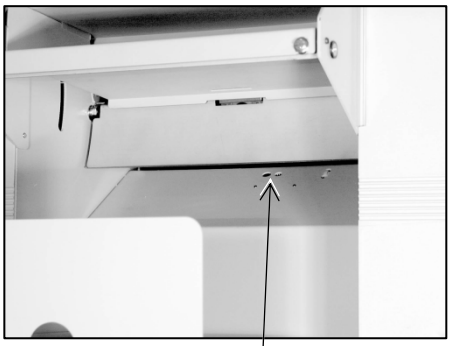
※ゴムローラー専用クリーナー：注文コード 1-141-0071

6．3　消耗品について

製品に使用されている給紙ゴムローラー、ブレーキゴム、用紙セパレーターは消耗品です。
交換が必要な場合は、お買い求め販売店までご連絡ください。

6．4　排紙フォトセンサーの清掃について

排紙フォトセンサーの清掃が簡単にできます。
排紙フォトセンサー部に用紙の破片及び紙粉などが付着すると「エラー」が発生します。
その場合は、軟らかい綿棒等で、付着した用紙破片・紙粉などを取り除いてください。



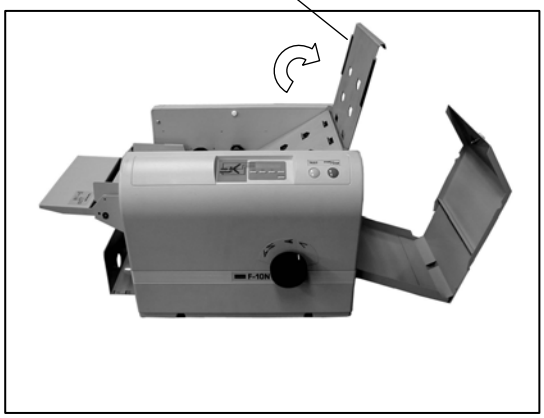
排紙フォトセンサー

⚠ 警　告	
⃠	紙粉を取り除く際は、固い材質のご使用はお控えください。 センサー表面が傷つくことがあります。

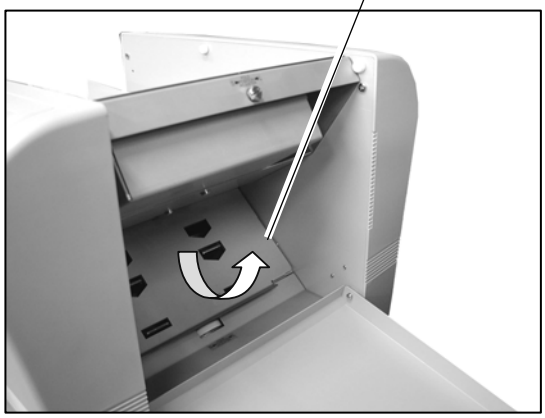
6．5　紙詰まり時の対処方法

折りカセットの中で紙詰まりが発生した場合、
カバーを開けて（折りカセット2の場合は、カバーを外して）、詰まった紙を取り除いてください。

折りカセット1カバー

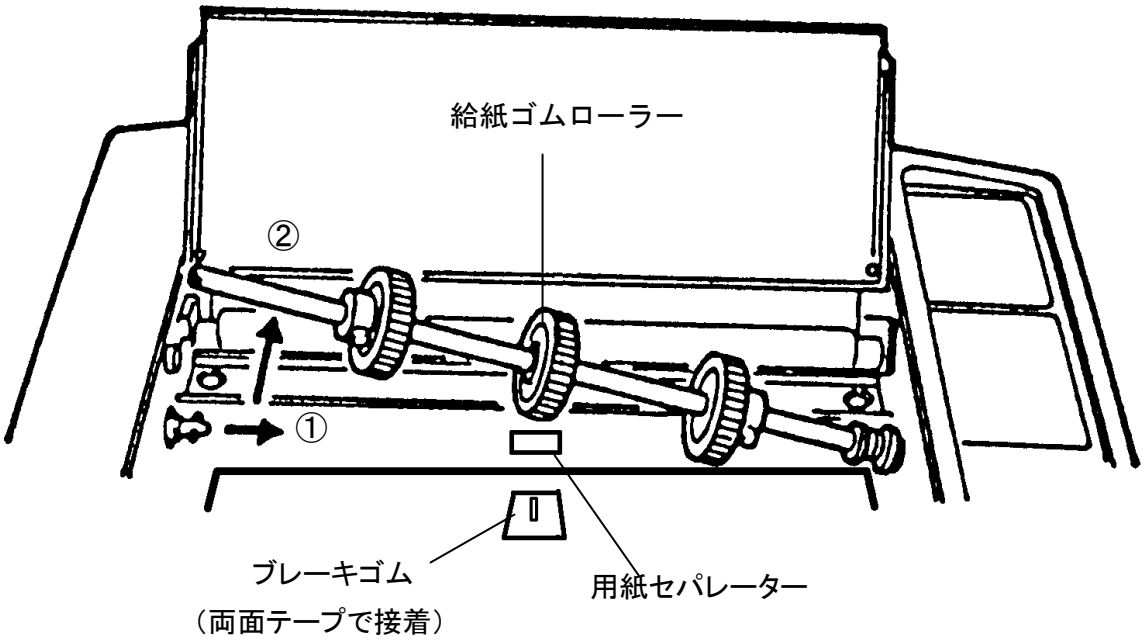


折りカセット2カバー

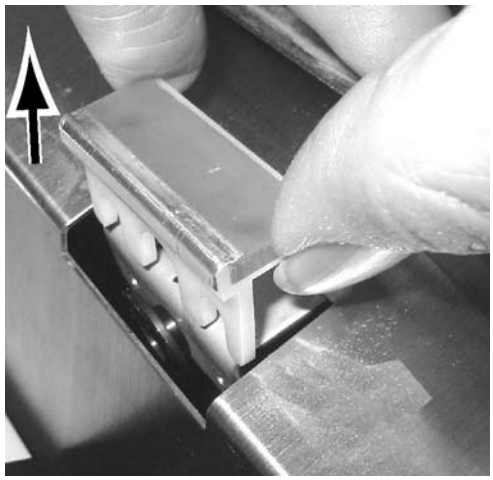


６．６　用紙セパレーター・給紙ゴム・ブレーキゴムの脱着について

給紙ゴムローラーと用紙セパレーターを交換する際は、下記の要領で取外しを行ってください。



用紙セパレーター（樹脂付き）の両端を持ち、引き抜きます。
取付けは逆の要領で行います。



用紙セパレーター

上記部品は、ご購入の販売店へご発注ください。

7. トラブル時の処置

7．1 トラブルの内容と処置

現 象	原 因	処 置	参 照
折りずれが生じる	微調整がされていない	微調整ツマミで折りずれ修整	5.2.1 折りカセット微調整
	折りローラーが汚れている	折りローラー清掃	6.保守･点検･消耗品
	用紙ガイドのセットが曲がっていて固定されている、又は用紙に密着していない	用紙ガイドを用紙に密着させる	
	給紙テーブルが曲がっている	斜行調整ツマミで給紙テーブルをまっすぐにする	5.2.2 斜行調整
	用紙の裁断が曲がっている	斜行調整ツマミで調整する	5.2.2 斜行調整
	更紙など薄口で反っている用紙を使用している	用紙交換または（可能であれば）裏返す	
紙詰まりが多発する	折りローラーが汚れている	折りローラー清掃	6.保守･点検･消耗品
	仕様外の用紙を使用している	仕様内の用紙を使用する	
	用紙通過部に紙片が詰まっている	各部点検し紙片を取り除く	
	給紙ローラーが汚れている	給紙ローラー清掃	6.保守･点検･消耗品
	静電気の異常発生	市販の静電気除去スプレーを吹きかける	
	印刷直後で湿っている	乾いてから使用する	
	給紙テーブル上に用紙がない、少ない	給紙テーブル上に用紙をのせる	
スタートキーを押しても給紙しない	ローラーカバーが開いている	ローラーカバーを閉じる	
	折りローラーに紙片が巻きついている	折りカセットカバーを外して折りローラーの紙片を取り除く	
シワが生じる	折りローラーが汚れている	折りローラー清掃	6.保守･点検･消耗品
	仕様外の用紙を使用している	仕様内の用紙を使用する	
	印刷直後の用紙のはりつき	用紙をよくさばくかインクが乾いてから紙折りをする	
	折りカセット内での紙詰まり	折りカセットカバーを開け、紙片を取除く	
	薄口で反っている用紙を使用している	用紙交換または（可能であれば）裏返す	
	印刷直後で湿っている	乾いてから使用する	
	電源コードのプラグが外れている	電源コードのプラグを確実に差し込む	4.1 付属品を取付ける

現 象	原 因	処 置	参 照
電源スイッチをONしても電源が入らない	ブレーカが働いている	紙詰まり等の原因を除き、ブレーカボタンを押す	
	排紙満杯	用紙を取り除く	
排紙ジャムが多発する	給紙ローラーが摩耗している	給紙ローラー交換	6.保守･点検･消耗品
給紙スリップが多発する	給紙ローラーに紙粉やインクの汚れがある	給紙ローラー清掃	6.保守･点検･消耗品
	仕様外の用紙を使用している	仕様内の用紙を使用する	
	用紙セパレーターが汚れている	用紙セパレーター清掃	6.保守･点検･消耗品
	給紙テーブルの用紙積載量が少ない	用紙は20枚以上セットする	
	用紙セパレーターが摩耗している	用紙セパレーター交換	6.保守･点検･消耗品
	60Hzの機械を50Hz地域で使用している	周波数設定を変更する	
重送が多発する	用紙セパレーターが汚れている	用紙セパレーター清掃	6.保守･点検･消耗品
	印刷済用紙が密着している	用紙をよくさばいて再セット	
	仕様外の用紙を使用している	仕様内の用紙を使用する	
	50Hzの機械を60Hz地域で使用している	周波数設定を変更する	
	用紙のカールが大きすぎる	カールを矯正	
紙折れが生じる	微調整が正しくセットされていない	微調整を正しくセット	5.2.1 折りカセット1・2の微調整

7．2 故障の場合

修理が必要な場合は、お買い求めの販売店までご連絡ください。

8. 移設または廃棄するとき

8. 1　移設

8. 1. 1　旧設置場所からの撤去作業

・電源スイッチを切る
・電源プラグをコンセントから抜きとる
・補助給紙テーブルをしまう
・排紙テーブルをしまう

8. 1. 2　運搬

・取り外した部品や付属品、取扱説明書を一緒に運ぶ。
・強い振動や衝撃を与えないようにする。
・保護手袋をし、底面 4 隅をしっかり持って運搬する。

8. 1. 3　移設先での設置

・新設の場所と同様、すべての作業を行ってください。
・旧設置場所と電源周波数が異なる場合は、使用できません。
　周波数設定が必要になります。お買い求めの販売店までご連絡ください。

8. 2　廃棄

廃棄する際は、各地方自治体の政令に従い産業廃棄物処理業者に依頼するなど、
適切な処理をしてください。

9. 製品仕様

9.1 仕様

用紙寸法	A4（297×210mm）のみ
用紙質量	64～130g／㎡（2つ折りのみ157g／㎡）
紙質	更紙・上質紙・上質孔版紙・中質紙 （上記の紙質であっても、一度折った紙や印刷機、コピー、プリンター等による熱によってカールしている状態・波を打っている状態などの紙では、うまく折れない場合があります。）
折り形	2つ折り･4つ折り･内3つ折り･外3つ折り･変形外3つ折り
給紙方式	3輪式サバキ方式
排紙方式	自然落下方式
給紙積載量	380枚（上質紙64g／㎡）
処理速度	50Hz 8,000／60Hz 9,200 （A4 2つ折り 枚/時）
操作方式	手動設定方式（ダイアル式）
付加機能	斜行調整・紙詰まり検知・ジャムマップ表示
消費電力	50Hz 68W ／ 60Hz 93W
使用電源	100V 50／60Hz
機械寸法	W622×D455×H332mm （使用時） W480×D455×H320mm （収納時）
機械質量	21．0kg

本機の仕様及び外観は改良のため、予告なく変更されることがありますのでご了承ください。

メモ

メモ

取扱説明書

この「取扱説明書」はいつでもお読みになれるよう保管場所を決めて、大切に保管してください。
また、この「取扱説明書」を汚されたり、紛失された場合は、販売店か当社営業担当者、又はお客様相談センターまでご連絡して、内容を確認のうえ請求してください。
この製品を譲渡される場合は、次の所有者にこの説明書を必ず添付して譲渡してください。

●故障の場合

修理が必要な故障の場合は、販売店または当社営業担当者及び以下のウチダテクノまでご連絡ください。

■株式会社ウチダテクノ

部門・部課名	〒	所在地	TEL	FAX
東京	116-0011	東京都荒川区西尾久 4-25-3　2F	(03)5901-2171	(03)3894-2305
大阪	540-8520	大阪市中央区和泉町 2-2-2 ㈱内田洋行内 3F	(06)6920-2446	(06)6920-2498
札幌	060-0041	北海道札幌市中央区北 1 条東 4-1-1 サッポロファクトリー㈱内田洋行内 1F	(011)241-2825	(011)241-2827
福岡	812-0008	福岡県福岡市博多区東光 2-10-11	(092)476-5011	(092)476-5009
名古屋	460-0002	愛知県名古屋市中区丸の内 2-4-20	(052)220-5270	(052)222-7640

●商品に関するお問合わせ先

お客様相談センター　フリーダイヤル　0120-077-266

●クリーナー

注文番号:1-141-0074　ゴムローラー専用クリーナー